

## 目次

はじめに .....	1
I. 研究成果概要 .....	5
II. 全体シンポジウム .....	25
1) 哲学の国際化は可能か	
2) グローバルな現実に向きあう哲学	
3) 国際化とは何をすることなのか	
4) 22世紀の世界哲学に向けて	
III. 各ユニットの活動 .....	207
1) 第1ユニット 世界哲学の日本からの発信 .....	208
(1) 日本哲学研究	
(2) 国際井上円了学会の創設と活動	
(3) 韓国・東国大学校との共同研究	
2) 第2ユニット 世界哲学の方法論研究 .....	377
(1) 「方法」の理論的探究とその技法 (WEB 国際会議)	
(2) 方法論の適用 (ポスト福島の世界哲学・〈法〉概念の研究・個別の連続研究会)	
3) 第3ユニット 多文化共生の実現 .....	615
(1) 宗教間共生の可能性とその展開 (宗教間の共生・精神と身体との共生・ 自然との共生・伝統と現代との共生・海外現地調査)	
(2) イランとの学術交流	
IV. 論文・訳註・書評 .....	775
V. 別冊 .....	1523
1) 第1ユニット .....	1524
(1) 『国際井上円了研究』1号	
(2) 『国際井上円了研究』2号	
(3) 『国際井上円了研究』3号	
(4) 『国際井上円了研究』4号	
2) 第2ユニット .....	2389
(1) 『国際哲学研究』別冊1「ポスト福島の世界哲学」	
(2) 『国際哲学研究』別冊2「〈法〉概念の時間と空間」	
(3) 『国際哲学研究』別冊4「〈法〉の転移と変容」	
(4) 『国際哲学研究』別冊8「デカルトにおける形而上学と道徳 —村上勝三の仕事を引き受けて—」	
3) 第3ユニット .....	2791
(1) 『国際哲学研究』別冊3「共生の世界哲学に向けて—イスラームとの対話—」	
(2) 『国際哲学研究』別冊5「哲学と宗教—シェリング Weltalter を基盤として—」	
(3) 『国際哲学研究』別冊6「共生の世界哲学に向けて—宗教間の共生の実態と課題—」	
(4) 『国際哲学研究』別冊7「共生の世界哲学に向けて —イラン・イスラームとの対話 (2) —」	
VI. 一般刊行物 .....	3303